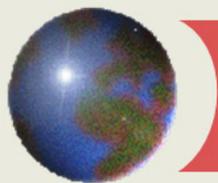




ICANNブエノスアイレス会合 政府諮問委員会報告

2013年11月16日(土)～21日(木)

2014年1月14日
総務省 データ通信課
山口 修治



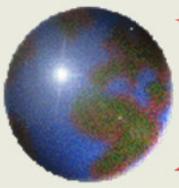
政府諮問委員会（GAC）の概要

● GACの活動

- ICANNの活動に関し、次の事項について政府の立場から検討、ICANN理事会に対して助言。
 - － 公共政策課題に関する事項。
 - － ICANNポリシーと各国国内法、国際協定との間で相互に関係がある事項。
- ICANNの理事会はポリシーの制定、採択においてGACの助言をしかるべく考慮しなければならない。

● GACメンバー構成

- 現在、126の国・地域の政府及び30国際機関(オブザーバー)で構成。
(今回会合で、ドミニカ国及びモンテネグロがGACメンバーとして、イスラム協力機構及びカリブ電気通信連合がオブザーバとして、新たに参加。)
- 今回会合には56の国・地域の政府、5国際機関が参加。
- 日本からは総務省が代表として参加。



政府諮問委員会（GAC）の概要

- ブエノスアイレス会合での主要議題

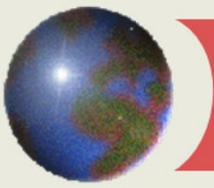
- I 新gTLD(分野別トップレベルドメイン)

- II GACの作業方法の改善

- III その他

- 今後の予定

2013年3月、シンガポールにおいて次回会合を開催予定。



I 新gTLDの導入 1 経緯

1 経緯

① GACTロント会合コミュニケ(2012年10月17日)

GAC早期警告は11月20日公表、GAC助言は次回会合でとりまとめる予定。

https://gacweb.icann.org/download/attachments/27132070/FINAL_Toronto_Communique_20121017.pdf?version=1&modificationDate=1354149148000&api=v2

② GAC早期警告(2012年11月21日)

145文字列、242の警告(日本からは、「.政府」及び「.date」の2件)

<https://gacweb.icann.org/display/gacweb/GAC+Early+Warnings>

③ GAC北京会合コミュニケ(2013年4月11日)

セーフガード助言とりまとめ、地理的名称はダーバン会合で結論。

<http://www.icann.org/en/news/correspondence/gac-to-board-18apr13-en.pdf>

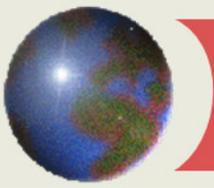
④ GACダーバン会合コミュニケ(2013年7月18日)

セーフガード助言に関して、**引き続きGACとNGPC(※1)の対話が必要**。地理的名称に関しては、一部は決着(※2)、残りは国と申請者が双方受入れ可能な解決策を探す。

<http://durban47.icann.org/meetings/durban2013/presentation-gac-communique-18jul13-en.pdf>

(※1) NGPC: new gTLD program committee (新gTLDプログラム委員会)の略。

(※2) 「.date」について、日本の北海道及び福島県「伊達市」の地名と重複することから日本として反対を表明。ダーバン会合中、両伊達市が求めていた、日本語を含むセカンドレベル文字列の保護、レジストリサービスと伊達市とが無関係であることの明示に加え、伊達の地名に悪影響を及ぼすサイトが出てきた場合の迅速な対処、管理委員会への参加等、伊達市側が受入れ可能な条件を担保できたことから反対を取り下げ。



申請者ガイドブック(AGB)におけるGAC助言(GAC Advice)の規定

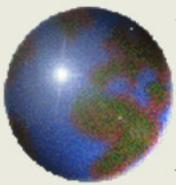
3.1 GAC Advice on New gTLDs (新gTLDに関するGAC助言)

GAC助言は以下のいずれかの形をとる。

1. 特定の申請に対し、審査を進めるべきではないというのが**GACの合意(コンセンサス)**である、とICANNに助言する。
2. 特定の申請に対し、懸念があるとICANNに助言する。理事会はGACと当該懸念を理解するために対話を持ち、その決定については理由を示すことが期待される。
3. 特定の申請に対し、修正すれば審査を進められるとICANNに助言する。

※**GACの合意(コンセンサス)** (GACダカール会合コミュニケ Annex II)

採択にあたり公式な反対なく合意(agreement)されたもの。



I 新gTLDの導入 2 GAC助言（新gTLD関連）の概要

2 GAC助言（新gTLD関連）の概要

ブエノスアイレス会合では以下の項目の新gTLD助言をとりまとめ。

① 特定の文字列へのGACの反対

関係者間の議論が進行中：.广州、.深圳

⇒ブエノスアイレス会合後、申請者が申請取下げ

.spa

⇒議論継続中

申請者が取下げ : .yun

理事会がGACコンセンサス助言を受入れ：.thai,

GAC助言の実施状況についてアップデートが必要：.amazon

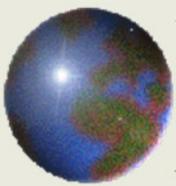
② セーフガード助言⇒[スライド7](#)

③ .wine及び.vin ⇒[スライド12](#)

④ IGO（政府間機関）名称保護⇒[スライド13](#)

⑤ 赤十字／赤新月の名称の保護⇒[スライド14](#)

⑥ 地理的及びコミュニティのための特別プログラム ⇒[スライド15](#)



I 新gTLDの導入 3 セーフガード助言

3 セーフガード助言 (GAC北京会合コミュニケANNEX I)

◆ カテゴリ1 (消費者保護、参入規制等への配慮が必要な文字列)

- 4月の北京会合で、GACは、消費者保護、参入規制等への配慮が必要な文字列を特定。7月のダーバン会合で、**GACとNGPCが引き続き対話を継続**していくことを確認。

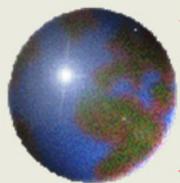
- 7月のダーバン会合後、NGPCが、

① **高いレベルの制約分野** (クローズな登録: .bank、.attorney、.lawyer等)

② **制約分野** (オープンな登録: .video、.software、.game等)

に再分類し、**レベルに応じたセーフガード** (①の場合: ②の要件に加え、登録の際、許可書・免許状等を示す等、②の場合: 登録の際、登録者に国内法の遵守を通知する等) をレジストリ規約に追記することをGACに提案。

- GACでは、提案内容を精査するとともに、特に、**医療分野においては、消費者保護や消費者の信頼性確保の視点から強い担保措置に留意する**よう理事会に助言。併せて、理事会に対して、**申請者との調整を歓迎するとともに、調整内容を開示するよう求めていく意向**。

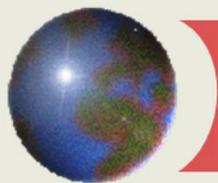


I 新gTLDの導入 3 セーフガード助言<参考>

(参考)新gTLDレジストリ規約 仕様11の 公共性の誓約(PIC)

1. 登録者は、プライバシー、データ収集、消費者保護、公平な融資、債権回収、有機栽培、データの公開及び財政面の公開を含め、**全ての国内法を遵守**すること。
2. 登録の際にレジストラが登録者に**国内法を遵守すべきとする要件を通知**すること。
- ② 3. 登録者がセンシティブな健康及び財政データを収集し維持する場合、国内法によって定義されるこれらの業務を提供する場合と同等のセキュリティ確保の方法を実装すること。
- ① 4. レジストリは、詐欺、その他の非合法的な活動のリスクを可能な限り軽減するため、関連規制体又は産業の自己規制体と共に作業する関係を構築すること。
5. 登録者は、最新の連絡先情報を提供すること。
6. 登録の際、**登録者が、許可書、免許及び／又は関連する資格を所有していることを示す**こと。
7. レジストリは、免許又は認証情報の信憑性に関する疑問がある場合、関連する国内の監督機関又は同等のものに相談しなければならない。
8. 登録者は、適切な規制及び免許の要件に合致していることを保証するため、**許可書、免許及び／又は関連する資格の変更を報告**すること。

レジストリは、以上の項目(「4.」及び「7.」を除く)を、レジストラに対して、レジストラント(登録者)との間の登録規約に含めさせること。



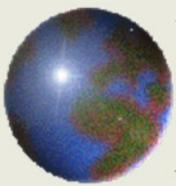
I 新gTLDの導入 3 セーフガード助言<参考>

	②規制分野／複数の管轄でオープンな登録が要件 (前ページのセーフガードの1-3が適用される。)	①高いレベルの規制分野／複数の管轄でクローズな登録が 要件(前ページのセーフガードの1-8が適用される。)
子ども	.kid, .kids, .kinder, .game, .games, .juegos, .play, .school, .schule, .toys	
環境	.earth, .eco, .green, .bio, .organic	
健康と運動	.care, .diet, .fit, .fitness, .health, .heart, .hiv, .rehab, .clinic, .healthy (IDN Chinese equivalent), .dental, .physio, .healthcare, .med, .organic, .doctor	.pharmacy, .surgery, .dentist, .dds, .hospital, .medical
金融	.capital, .cash, .cashbackbonus, .broker, .claims, .exchange, .finance, .financial, .forex, .fund, .investments, .lease, .loan, .loans, .market, .markets, .money, .pay, .payu, .retirement, .save, .trading, .credit, .insure, .netbank, .tax, .travelersinsurance, .financialaid, .vermogensberatung, .mortgage, .reit	.bank, .banque, .creditunion, .creditcard, .insurance, .ira, .lifeinsurance, .mutu alfunds, .mutuelle, .vermogensberater, .versicherung, .autoinsurance, .carinsur ance
ギャンブル		.bet, .bingo, .lotto, .poker, .spreadbetting, .casino
慈善	.care, .gives, .giving	.charity (IDN Chinese equivalent)
教育	.degree, .mba	.university
知的財産	.audio, .book (IDN equivalent), .broadway, .film, .game, .games, .juegos, .movie, .music, .software, .song, .tunes, .fashion (IDN equivalent), .video, .app, .art, .author, .band, .beats, .cloud (IDN equivalent), .data, .design, .digital, .download, .entertainment, .fan, .fans, .free, .gratis, .discount, .sale, .hiphop, .media, .news, .online, .pictures, .radio, .rip, .show, .theater, .theatre, .tour, .tours, .tvs, .video, .zip	
専門業務	.accountant, .accountants, .architect, .associates, .broker, .brokers, .engineer, .legal, .realtor, .realty, .vet, .doctor, .engineering, .law	.abogado, .attorney, .cpa, .dentist, .dds, .lawyer
企業の識別名	.limited	.corp, .gmbh, .inc, .llc, .llp, .ltda, .ltd, .sarl, .srl, .sal
一般的な 地理的名称	.capital, .town, .city	
	.reise, .reisen, .weather	

特別なセーフガードの要件

政府の機能	.army, .navy, .airforce
サイバーいじめ／ハラスメント	.fail, .gripe, .sucks, .wtf

(※)10月29日付けNGPCLター(GAC議長宛て)より引用



I 新gTLDの導入 3 セーフガード助言

◆ カテゴリ2 (排他的な登録)

- ① gTLD空間は**原則オープン登録**とすべきであり、カテゴリ1であげた理由などの場合に限りて登録制限が行われるべきである。
- ② 一般名詞の排他的登録ポリシーについては、**公共の利益目的に合致する場合**に限定すべきである。



6月25日付けの決議により、NGPCは、**上記の助言を受入れ**。ダーバン会合では、本件は議論されず。



10月29日付けのNGPCレター (Heather GAC議長宛て) で、NGPCは、①**174の申請者がレジストリを排他的に運用しないこと**、②**以下の10の申請者がレジストリを排他的に運用することを希望**しており対応中であることを説明。

.BROKER, .CRUISE, .DATA, .DVR, .GROCERY, .MOBILE, .PHONE, .STORE, .THEATER, .THEATRE, .TIRES

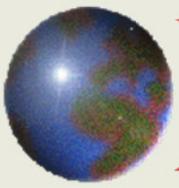


ブエノスアイレス会合では、レジストリ規約のPICとGAC助言の表現が異なっている点^(※)等が指摘。理事会は、**PICがGAC助言を十分に反映しているかどうか検討**することとなった。

(※) 北京GAC助言では、「**あらゆるレジストラ又はレジストラントに不当な優先を与えてはいけない**」とあるが、PICでは、「**ある人物、団体、人物又は団体の会員**」と記載。

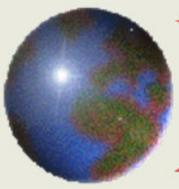
◆ その他

文字列の競合時に実施される**オークションでの公共政策の視点**について、理事会に説明を求めることとなった。



セーフガード助言のカテゴリー2のための公共性の誓約(PIC)

1. レジストリの運用者は、明白なレジストリポリシーを規定、公表及び順守することにより、公開性及び無差別の一般的な原則に一致した透明な方法でTLDを運用する。
2. TLDのレジストリの運用者が、ある人物又は団体並びに／若しくは人物又は団体の「会員(レジストリ契約の第2.9節に定義)」に登録を排他的に制限するTLDにおいて名前を登録するための適格性の条件を課すことを禁止(may not)する。「一般的な文字列」は、物品、サービス、グループ、組織又は物の特定のブランドを識別することと反対に、物品、サービス、グループ、組織又は物の一般的な分類を命名又は表す単語又は用語を構成する文字列を意味する。



4 .wine及び.vin(原産地名の保護)

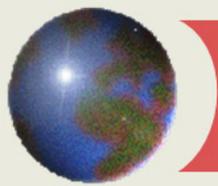
- 7月のダーバン会合で、原産地の地理的表示 (Geographical Indicator) の保護への対応を必要とする欧州各国等と、新たなセーフガードは必要ないとする豪等が対立^(※1)。会合後も継続して(30日間)、オンラインで議論がされたが、対立は埋まらず。
- 9月9日付けで、Heather GAC議長(カナダ)が、本件セーフガードに係るGACの**コンセンサス助言ではない**^(※2)としつつも、**本文字列のGAC自体での検討は終了し、申請者は通常評価プロセスに進むべきことを理事会に助言する**レターを発出。これに対し、欧州各国が反発し、GAC内でコンセンサスが得られなかった場合のvotingの導入等、意思決定プロセスに関する改善を提案。
- **ブエノスアイレス会合でも、両者の対立は埋まらず。本状況を理事会に報告。**

(※1)両者の主張は、以下のとおり。

欧州各国等: ワインに関する地理的表示 (Geographical Indicator) の保護のため、追加的なセーフガードが必要。これが出るまでは、文字列の手続きを先に進めるべきではない。

オーストラリア、ニュージーランド、米国、カナダ: 既存のセーフガードで十分であり、文字列の手続きを先に進めるべき。仮に原産地の地理的表示の保護を議論するならば、議論の場はICANNではなく、WIPOやWTOであるべき。

(※2)本文字列につながる地理的表示の取り扱いは、GACメンバー内にも多様な観点があり、政府間の国際的な合意には至っていないことを明記。



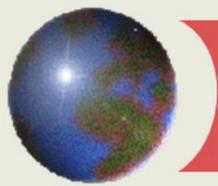
I 新gTLDの導入 5 IGOの名称保護

5 IGO(政府間機関)の名称保護

- 本年3月22日、GACは、**条約ベースの政府間機関及び国連機関に関する予約語リスト(UPU,ITU等192件)をICANN理事会に提出**。4月の北京会合で、新gTLDが開始されるまでに、これらの**IGOの名称及び頭字語のセカンドレベルの予防的保護が行えるよう助言**。さらに、7月のダーバン会合では、NGPCと直接対話を行い、セカンドレベルの予防的保護を再度直接要望するとともに、**保護に関する実装のメカニズムが必要**として以下を助言。
 - (1) 潜在的な登録者(レジストラント)がセカンドレベルドメインでIGOの頭文字に一致するドメイン名を登録しようとした場合、**IGOが通知を受取ることができ、懸念を表明できるメカニズム**。
 - (2) IGO及び潜在的な登録者が不同意の場合、**独立した第三者が当該登録要求をレビュー**できるメカニズム。
- 本年10月2日、NGPCは、上記のGAC助言のうち、IGOの保護のメカニズムを提案。
 - 上記の(1)については、**TMCH(※1)を活用**すること。
 - 上記の(2)については、**URS(※2)を活用**すること。
- 本年11月1日、国連、ITU、WIPO等のIGOの連盟は、上記のNGPCの提案に対して、**URSが最終的な拘束力を持つ決定ではないこと、TMCHはクレーム期間の制限があること、URSやTMCHの活用には人的リソースや法的コストがかかること、IGOがグローバルで公的な使命を実施する機関なので特別な保護が必要**であること等を理由として、懸念を表明。
- ブエノスアイレス会合では、**保護に関する実装メカニズム**(衝突の通告、不正登録防止手法、第三者紛争処理、費用問題等)を、**NGPCと継続対話**することを理事会に助言。

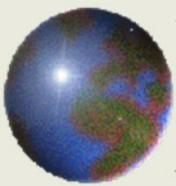
(※1) TradeMark ClearingHouseの略。TMCHでは、事前に、自らが持つ商標を新gTLDのレジストリや新gTLDを取り扱うレジストラが共通して参照するデータベースに登録しておくことにより、他者による意図しないドメイン名登録から商標を保護することが可能。

(※2) Uniform Rapid Suspensionの略。従来の運用処理方針UDRP(Uniform Domain Name Dispute Resolution Policy)と異なり、権利移管を目的とせず、運用の凍結(一時的な利用の差し止め)までを行う。迅速、簡単、低費用での異議申し立てが可能。



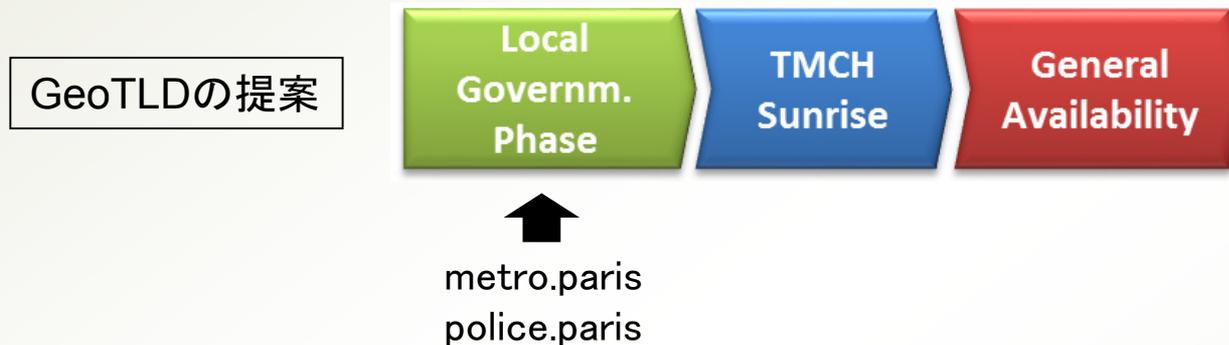
6 赤十字／赤新月の名称保護

- 2013年7月に承認された新gTLDレジストリ規約で、セカンドレベルでの**赤十字／赤新月の名称 (redcross, redcrescent等) の保護**が決定。
- 国際赤十字・赤新月社連盟は、赤十字／赤新月に関する国際的な名称だけでなく、**各国の赤十字社・赤新月社の名称 (例えば、「日本赤十字」、「日赤」) 及び頭字語の保護**を要望。GACは、当該保護に関する検討を行い、理事会に対して本件を追加検討することを助言。



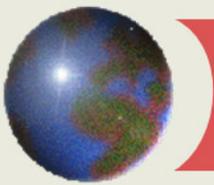
7 地理的及びコミュニティのための特別プログラム

- 7月のダーバン会合で、GeoTLD Stakeholder Group^(※)が、地理的名称のTLDについて**TMCHに先立つ保護メカニズムが必要**と主張。



- ブエノスアイレスGAC会合では、アフリカを中心に、政府や地元地域に関連する文字列の保護のメカニズムが必要との主張。GACは、ICANNがGeoTLDから提案された**当該メカニズムの扱いを明確にすること**を理事会に求めた。

(※) GeoTLD Stakeholder Groupは、「.berlin」、「.paris」、「.nyc」等地理的名称に関するTLDのグループ。GNSOのRegistry Stakeholder Groupとして活動。



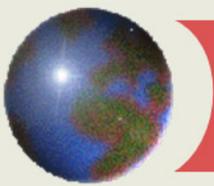
Ⅱ GACの作業方法の改善

Ⅱ GACの作業方法の改善

- 本年7月のダーバン会合で、GACの作業方法(Working Method)に関するWG(議長:スペイン)の設置が確認。同会合以降、GACのメーリングリストにおいて議論。
- WG議長から「GACの作業方法に関する検討材料(“FOOD FOR THOUGHT” PAPER ON GAC WORKING METHODS)」と題する文書が提案。**ブエノスアイレス会合で、以下を合意。**
 - ① GAC会合の**運営改善**(議題の締切設定、会議時間の厳守等)
 - ② GAC議論への**参加者の促進**(副議長の役割設定、電話会議の活用等)
 - ③ ICANN内関係組織との**相互リエゾン**の促進
 - ④ GAC助言の**実施状況管理の改善**
- WG議長から「GACの意思決定プロセスに関する文書(PAPER ON DECISION MAKING PROCESS AT THE GAC)」が共有され、**GACの意思決定に関する手続き案**(※)が提案。**ブエノスアイレス会合では合意に至らず、引き続き、会合間の作業が継続**されることとなった。

(※)GACの意思決定プロセスに関するスペイン提案

- ① 会議を成立させるために最低限必要な定足数を3分の1(現在のGACメンバー数は現在126であるため、定足数は42。今回会合の参加者数は56。)とすること。
- ② コンセンサスが得られなかった場合に、議長がまとめ役(facilitator)を決定し、地域別(北米、中南米、アジア太平洋、アフリカ、ヨーロッパ、アラブ)のグループで議論を行い、コンセンサスを得るよう努めること。
- ③ 議論によるコンセンサスが得られなかった場合の最後の救済策として、votingを行い、3分の2(欠席者はカウントしない)以上の賛成でGACコンセンサスとすること。この投票でコンセンサスが得られない場合、投票結果の反映、提案の修正を行った上で、2回目の投票を行うこと(2回目の投票でもコンセンサスが得られない場合、GAC議長は、GACの議論を理事会に報告する)。



Ⅲ その他

1 他組織との交流

- ・GACは、理事会、NGPC、GNSO、ccNSO、ATRTR2、Brand Registry Group等の多くの関係機関と対話を実施。
- ・ Brand Registry Groupとの対話



Brand Registry Group (BRG) は、**ブランドトップレベルドメイン名のセカンドレベルでの国名及び2文字コードの解放**を要望。

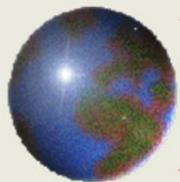


国名の使用の承認に関して、**GACではなく各国が直接判断できるプロセスの方が望ましい**等の意見があり、引き続きGACメンバーは議長に意見を集約し、シンガポール会合までに、**GACの見解をBRGに回答する予定**。

2 GAC副議長の選出

- ・来期のGAC副議長の選出が行われ、現在の3名^(※)が再選された。
- ・GAC作業方法改善の議論の中で、副議長の人数の追加が議論される予定。

(※) Peter Nettlefold(豪)、Thomas Schneider(スイス)、Tracy Hackshaw(トリニダード・トバゴ)



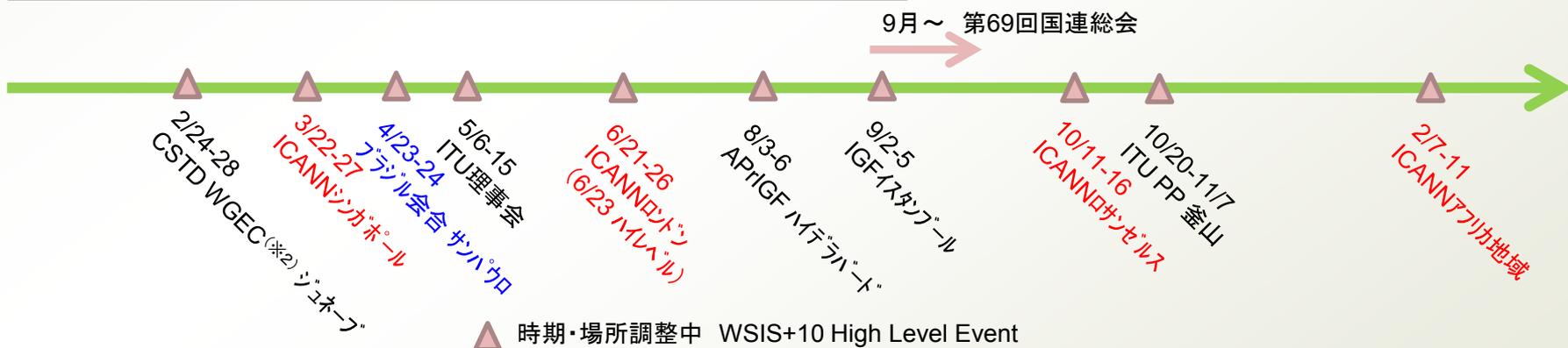
Ⅲ その他 3 インターネットガバナンスを巡る動き

3 インターネットガバナンスを巡る動き

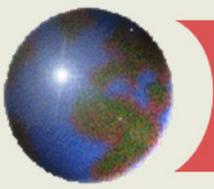
- 11月20日午前7時のセッションで、ICANNのFadi CEOが、「**将来のインターネットガバナンスに関するグローバルなマルチステークホルダー会合**」(ブラジル会合)が**4月23、24日にブラジル(サンパウロ)で開催**されることを発表するとともに、**1net^(※1)がブラジル会合をサポート**することを説明。質疑応答では、1netのプロセスや扱う課題が不明確である等の指摘があった。
- Fadi CEOは、ブラジル会合への協力を精力的。ICANNの今後5年の戦略プラン策定に資するために設置された5つの戦略パネルのうち、「**将来のインターネットガバナンスにおけるICANNの役割に関するパネル**」のメンバーが今会合で確定。当該パネルは、ブラジル会合を含め、各フォーラムでのインターネットコミュニティのフィードバックを得た上で、**2014年5月に結論**を持つ予定。

(※1) モンテビデオ宣言やFadi CEOによるブラジル・ルセフ大統領の訪問を端緒とした一連のインターネットガバナンスの議論に関する運動(movement)のための支援に関して、1netの名称が合意。Webサイトとメーリングリストが運用されている。

今後のインターネットガバナンスを巡る主な会合スケジュール



(※2) CSTD WGEC: Commission on Science and Technology for Development(開発のための科学技術委員会) Working Group Enhanced Cooperation(協力強化に関するワーキンググループ)の略。国連第2委員会のCSTDのWGとして設置。

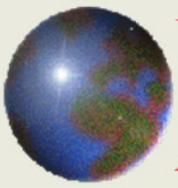


Ⅲ その他 3 インターネットガバナンスを巡る動き

議長は、エストニアのToomas Ilves大統領。インターネットのグローバルな協力のための原則やそのような原則のための枠組み等を検討。

参加メンバー

- ・Mohamed al Ghanem: Founder and Director General of the UAE Telecommunications Regulatory Authority
- ・Virgilio F. Almeida: Member of the Brazilian Academy of Sciences
- ・Dorothy Attwood: Senior Vice President of Global Public Policy, Walt Disney Company
- ・Mitchell Baker: Chair, Mozilla Foundation
- ・Francesco Caio: CEO of Avio、 former CEO, Cable and Wireless and Vodafone Italia
- ・Vint Cerf: Vice President and Chief Internet Evangelist for Google
- ・Fadi Chehade: CEO and President of ICANN
- ・Nitin Desai: Indian economist and diplomat; former UN Undersecretary General
- ・Byron Holland: President and CEO of the Canadian Internet Registration Authority
- ・Toomas Ilves: President of Estonia; former diplomat and journalist
- ・Ivo Ivanovski: Minister of Information Society and Administration, Macedonia
- ・Thorbjørn Jagland: Secretary General of the Council of Europe; former Prime Minister of Norway
- ・Olaf Kolkman: Director of NLnet Labs; "Evangelist" of the Open Internet
- ・Frank La Rue: UN Special Rapporteur on the Promotion and Protection of the Right to Freedom of Opinion and Expression; Founder, Center for Legal Action for Human Rights (CALDH)
- ・Robert M. McDowell: former U.S. Federal Communications Commissioner
- ・Andile Ngcaba: Executive Chairman, Dimension Data Middle East and Africa
- ・Liu Qingfeng: Director of National Speech & Language Engineering Laboratory of China
- ・Lynn St. Amour: President and CEO of the Internet Society; telecoms and IT executive
- ・Jimmy Wales: Founder and Promoter of Wikipedia
- ・Won-Pyo Hong: President, Media Solution Center, Samsung Electronics



● 今後の予定

● 今後の予定

(1) 会合間の各WGの活動

① GACの作業方法の改善に関するWG(議長:スペイン)

GACの意思決定プロセスに関する改善等について、次回会合で結論を得るべく、作業を継続。

② 将来の新gTLDラウンド(第二ラウンド)に向けたWG(議長オーストラリア)

WGのサブトピックとして、

①地理的名称の保護、

②申請者支援/途上国からの参加の促進、

③コミュニティからの申請の促進が設定。

このうち、特に、今般のgTLD申請で各種議論(対立・調整等)が生じた①に関しては、次回会合で結論を得るべく、会合間のWG作業(アルゼンチンがリード)を継続。

(2) 次回

・ 2014年3月22日～27日 於シンガポール